

裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター

No.77
2016年3月

小さな世界 ⑫

裏磐梯の春も、今年は早く訪れるのでしょうか？私たちは色々な物事から春を感じることができます。現代ではマスク姿も春を感じる物の一つなのかもしれません。写真は、スギの木の雌花。ここに雄花から飛んできた小さな花粉を捕まえて、受粉するわけですが、まじまじと見てみるとワッフルの様でかわいい。スギというと、花粉症の原因で今では嫌われ者なのかもしれません、日本人との関係は深いのです。真っすぐとすくすくと伸びることから「直（す）ぐな木」から名称が由来される説や、漢字では「楫」とも書いたこともあるようで、また、日本家屋の柱に使われることも多く、スギが日本人の生活にはなくてはならない大事な木材であったことが随所にうかがえます。そもそもスギは木材として、蓄熱や調湿にとても高い能力を持ちます。日本の気候と日本人の生活スタイルに、とても適しているのです。近年は建築スタイルの変化や花粉症などの話題で、邪魔者扱いをされることも多くなり、長く私たちがお付き合いしているスギの木に、この春は目を向けてみてください。

（「スギの雌花」2016年3月18日）

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■待ちわびる「春」■

今年の裏磐梯は例年になく雪の少ない冬でしたが、皆さんのところはいかがだったでしょうか？日本で冬型の気圧配置が長続きしなかったことはエルニーニョ現象が影響したとみられています。天気予報などで「三寒四温」という言葉を聞いたことがあるかと思います。冬季に寒い日が三日ほど続くとその後四日ほど温暖な日が続き気候がだんだん暖かくなるという意味に用いられます。日本では規則正しい現象は現れにくく、冬から早春にかけて単に寒暖を繰り返す陽気をさすことが多いようです。

昨年は3月中旬に大雪となり、裏磐梯ビジターセンターでは3月14日に最大積雪238cmを記録しました。正岡子規の俳句に「毎年よ彼岸の入りに寒いのは」の句がありますように寒の戻りもあるかもしれません。



冬が暖かかった今年は、花粉もすでに飛びはじめ、偏西風に乗って黄砂やPM2.5も飛来しています。春になるのはうれしいけれど、ちょっとぴり憂鬱な季節でもあります。

また、少雪の影響で水不足などにならない穏やかな春になるといいですね。



■こんなのが見なかつた？■ 裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

森の中を歩いていると、時々、幹にたくさんの穴があいている木に出会うことがあります。この穴は、どうしてあいたのでしょうか？次のどれだと思いますか。

- ① 昆虫が樹液を吸うためにあけた
- ② 人間が樹液を取るためにあけた
- ③ キツツキの仲間が木の中の虫を取ったり、巣を作ったりするためにあけた
- ④ クマが木登りをした時、ツメであけた
- ⑤ 木が病気にかかり、穴があいた

正解は、③のキツツキの仲間です。



キツツキの仲間（裏磐梯ではアカゲラ、アオゲラ、コゲラなどがあります。）が、くちばしで木をつついで上手に穴をあけるのは、いくつかの秘密があります。まずは足の指が、他の鳥たちと違い、前2本と後ろ2本になっていて幹にたてにしっかりとつかまれるからです。それに、しっぽの羽根がとても強くしなやかで、先端を支点に板バネのような振動で高速でつくことができるから、などがある

ようです。



写真はアカゲラですが、その様子が少しわかるでしょうか。英語でウッドペッカー（森の木つき屋）と呼ばれるキツツキの仲間を、皆さんも双眼鏡を持って観察してみてください。

■ 自然人（しぜんびと）

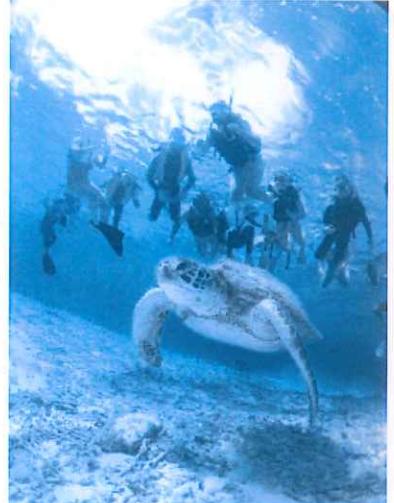
自然の中でがんばっている人たちを紹介します

このコーナーでは自然活動をがんばっている若い方にスポットをあて、自然の魅力や活動、目標などを紹介していただきます。



今回は、「国立沖縄青少年交流の家」企画指導担当及びボランティアコーデネーターの
上條弥生さん（べす）です。

「国立沖縄青少年
交流の家」
ここです！



子供の頃から水泳をしてきた私にとって、高い透明度に色とりどりの熱帯魚や海亀が泳いでいる渡嘉敷島の海はとても魅力的なフィールドです。ナイトダイビングでは40分ほど先を照らす月明かりに浮かぶ魚たちと泳いだこともあります。「この島は素晴らしい」、私がここに住みたいと思ったきっかけです。

国立沖縄青少年交流の家では青少年を対象とした様々な海洋体験活動の支援を行っており、プログラムは大型カヌーや体験スノーケリング等があります。また、渡嘉敷島の雄大な自然は私たちにとって大きな恵みであり、「無人島アドベンチャーキャンプ」では電気と水道のありがたさを、不登校児童生徒を対象にした「いきいき自然体験キャンプ」では仲間との関わり・つながりを自然に実感することができます。



私はこの仕事に携わり、今年でちょうど10年になりますが、ここでたくさんの輝く笑顔に出逢ってきました。素晴らしい自然があり、仲間との関わりの中で新しい自分に出逢える、そんな瞬間に立ち合えるこの仕事が大好きです。

「いちゃりばちょーでー（沖縄の言葉で、一度出逢えば皆兄弟）」を感じる、あたたかい沖縄で出逢う子供たちに、これからも新たな発見やわくわくするような楽しさを得られる体験や感動を伝えていきたい。

★国立沖縄青少年交流の家★ <http://okinawa.niye.go.jp/>

■ ようこそ！ビジターセンターへ

■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

第11回 学生研究発表会を開催しました！

3月16日（水）に第11回学生研究発表会を開催しました。口頭発表、ポスターセッション合わせて13名の学生に渾身の研究成果を発表していただき、30名以上の聴講者が熱心に耳を傾けていました。



磐梯山周辺をフィールドに研究・調査を行っている学生が、成果を存分にアピールする姿が印象的でした。また、聴講者は住まいの地域のことをより深く知ることができ、積極的に質問や意見を投げかける姿も見られました。発表学生、聴講者ともに新たな発見があった発表会だったのではないかと思います。



■ お知らせ ■

※ウェブサイトからも裏磐梯だより最新号やイベント報告の詳細をご覧いただけます

開館時間変更と ゴールデンウィークのお知らせ

4月1日から開館時間が
午前9:00～午後5:00
に変わります。

※3月31日までは
午前9:00～午後4:00

ゴールデンウィークは
4月29日(金)～5月5日(木)
まで毎日開館します。
※5月6日(金)は振替休館
となります。

レンタルしています！

長靴・クマ鈴・双眼鏡をレンタルしています。



詳しくは電話でお問い合わせください。

冬期閉鎖道路再開通予定などのお知らせ



●県道米沢猪苗代線（旧スカイバレー）

お問合せ：置賜総合支庁道路計画課 0238-26-6080

●磐梯吾妻レークライン、磐梯山ゴールドライン

…4月中旬再開通予定

お問合せ：猪苗代土木事務所 0242-62-3102

◆桧原湖畔探勝路

お問合せ：北塩原村商工観光課 0241-32-2511

★磐梯吾妻スカイライン…4月8日(金)10時 再開通予定

お問合せ：吾妻土湯道路管理所 0242-64-3478

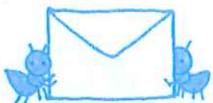
※裏磐梯は4月でも雪が降る日があります。
また気温が下がると道路が凍結することもあります。

「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます！

年間6回（奇数月）の発行ごとに更新します。

どうぞおたのしみに！



■ 総集編 vol.1～3 販売中!!

※各1冊 1,300円（税込）

裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

■ 郵送でお届けする定期購読も！

ご希望の場合は、ご住所とお名前を明記の上、
82円切手6枚（1年間6回の送付分）を同封して
裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

裏磐梯の春の動植物

今冬は雪が少なく暖かい日が多くなったため、例年に比べて早く花が咲いたり夏鳥がやってきたりするのではないか。どうでしょうか。

例年は、4月下旬にミズバショウ、5月上旬にオオヤマザクラが咲き、多くの人を惹きつけます。木々が芽吹き、新緑の時期になっていきます。フキやスミレの仲間、リュウキンカ、チゴユリ、マイヅルソウ、エンレイソウ、オオカメノキ、ムラサキヤシオ、ミツバアケビ、カエデの仲間などが花を咲かせます。

生き物の活動も活発になり、水の中ではクロサンショウウオやヤマアカガエルなどが卵を産み、森の中はキビタキやオオルリ、ウグイスなど野鳥の声で賑やかになります。ヒオドリ・シヨウヒン・エゾハルゼミなどの昆虫も目につくようになります。ツキノワグマも冬ごもりから出てきます。散策する時は、クマ鈴などを鳴らして歩きましょう。



★ビジターセンターの窓から★

5年間勤めた裏磐梯ビジターセンターの窓からの様子も今月で見納めです。今後は内からではなく外から。。。皆さま5年間ありがとうございました。

（わっしー。）今シーズンは雪が少なく、VC前の国道も走りやすかったです。ウグイスはいつさえずり始めるのかな？（ろっぴ）花粉が飛んでいます。マスクをお持ちください。（くりりん）事務室の窓から見えるグランデコのゲレンデは、西大巔にBDと描いたように見えます。空の色がもう春です。（ターサン）

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

開館時間

☆夏季（4月～11月） 午前9:00～午後5:00

☆冬季（12月～3月） 午前9:00～午後4:00

休館日

毎週火曜日、年末年始

（火曜祝日の場合は開館し翌日休館）



入館無料

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>